

製品名: GPCR/LGR6 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84401

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.61mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	104 kDa

抗原情報

遺伝子名	GPCR/LGR6
別名	GPCR; Lgr6;;LGR6
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9HBX8
免疫原	ヒト LGR6 由来の合成ペプチド

背景

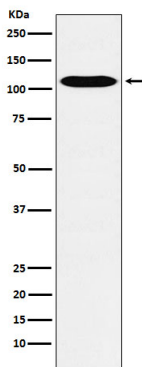
R-スポンジ受容体は、標準的な Wnt シグナル伝達経路を増強し、表皮における多能性幹細胞のマーカールとして機能します。 R-スポ

ンジン (RSPO1、RSPO2、RSPO3、または RSPO4) に結合すると、細胞外 Wnt 受容体によって活性化されるリン酸化 LRP6 およびフリズド受容体と会合し、標準的な Wnt シグナル伝達経路を誘導して標的遺伝子の発現を増強します。従来の G タンパク質共役受容体とは異なり、ヘテロ三量体 G タンパク質を活性化してシグナル伝達を行うことはありません。腫瘍抑制因子として作用する可能性があります。

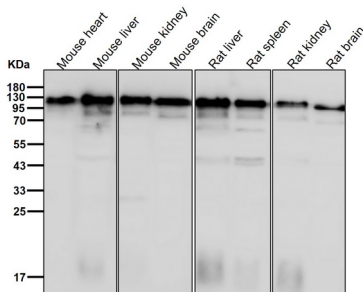
研究分野

-

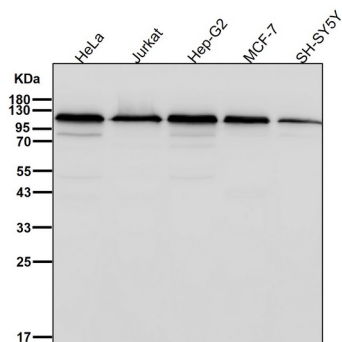
画像データ



HUVEC 細胞溶解物中の GPCR / LGR6 発現のウェスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。